

令和3年4月から2学期制を実施します

笠間市教育委員会

笠間市教育委員会は、各学校が地域の実態により即した教育活動を展開することができるように、学校を支援する手立ての1つとして「2学期制」に着目し、保護者の皆様からのご意見を参考にしながら、その効果と課題について検討してきました。

笠間市内全小・中・義務教育学校で、令和3年度より2学期制を導入することにいたしました。

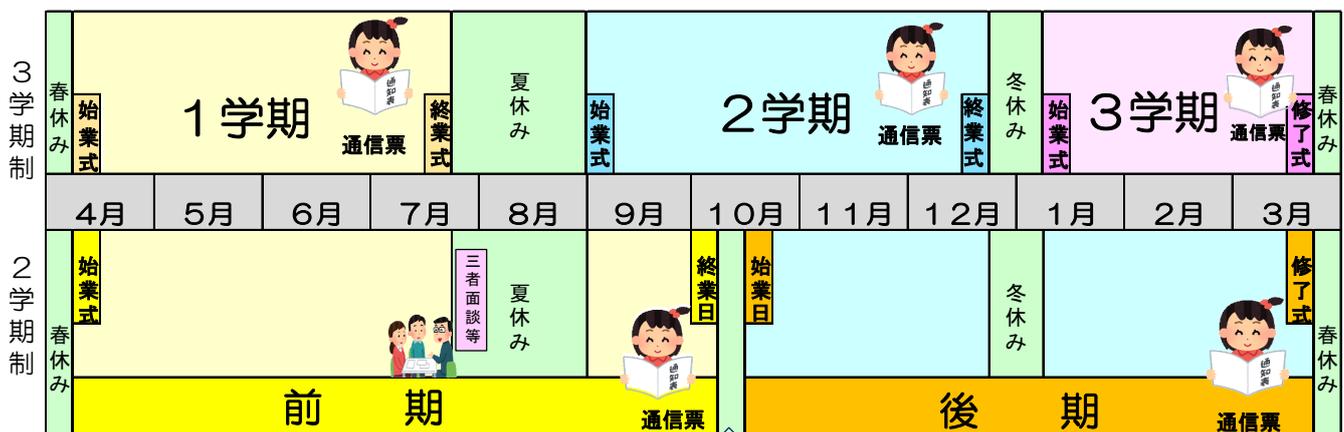
～2学期制導入のねらい～

2学期制の特性を生かし 子どもの確かな学力の向上を目指します

2学期制とは・・・1年間を2つの学期（前期・後期）に分ける制度です。

○年間の授業日数は3学期制と同じです。

○長期休業日（夏休み等）の日数・時期も3学期制と同じです。



前期終業日と後期始業日について

○前期は、4月1日～10月第2月曜日まで。後期は、10月第2月曜日の翌日から翌年の3月31日まで。

○前期終業日と後期始業日の間に、「スポーツの日」を含む3連休をはさむ。

10月の3連休

2学期制の特性を生かした特色ある教育活動を展開します。具体的には、以下の3点に取り組んでいきます。

学習にじっくり取り組める環境をつくりまします！

- これまでは忙しい時期であった学期末（7月・12月）も、長期休業直前までじっくりと授業を行い、学習内容の確実な定着を図ります。
- 夏休み中に三者面談等を実施し、お子様の学習や生活の状況を詳しくお伝えします。

楽しい学校づくりを行います！

- 学習活動や学校行事等での多様な体験活動を工夫し、楽しい学校生活を目指します。
- 学習面・生活面ともに、先生が子どもと向き合う時間の一層の確保に努めます。

新たな学校生活のリズムをつくりまします！

- 学期の途中に含まれる長期休業を有効に活用し、子どもの学びや生活習慣が継続できるようにします。
- 学校行事の実施時期や内容を見直し、学校生活の一層の充実を図ります。

2学期制 **Q** & **A**

笠間市教育委員会

※12月に実施した保護者アンケートでいただいた質問にお答えします。



Q1 2学期制のメリットは何ですか？

- メリット① 学期のスペンが長い（約100日）ので、学校行事等を効果的に配置することができます。子どもたちは学習や学校行事にじっくりと取り組むことができます。
- メリット② 長期休業（夏休み・冬休み）の学習のがんばりが、成績向上や学習意欲の継続につながります。
- メリット③ これまで長期休業日前行っていた成績関係の事務作業を長期休業中に行うため、先生が子どもと向き合う時間がより確保できます。長期の休み前、ぎりぎりまで授業に取り組み、きめ細やかな指導ができると考えています。

Q2 授業日数、授業時数は足りませんか？ 学習の進め方に支障はありませんか？

年間の授業日数は、3学期制と同じです。年間の授業時数は、終業式や始業式などの時間を授業に充てることができるので、今までよりも多くなります。それにより、長期休業の直前まで授業が行えるので、十分に時間をかけて丁寧に学習を進めることができます。

Q3 通信票をもらう回数が2回に減ることが不安です。何か対応策はありますか？

夏休み中に三者面談等を実施し、お子様の生活や学習の様子をお伝えします。面談で課題の共通理解や明確な目標設定を話し合います。その課題や目標を意識して夏休みの家庭学習に取り組むことができ、そのがんばりが成績向上につながることで、子どもの学習意欲の継続が期待できます。

Q4 学校を知る機会が減ることになりませんか？

各校において、授業参観やフリー参観、懇談会や面談など、保護者の皆様が学校を知る機会を設定いたします。



Q5 中学校では、定期テストの回数が減ることになり不安なのですが？

定期テストは、年5回（中間2回、期末2回、学年末1回）から年4回（中間2回、期末1回、学年末1回）になります。定期テストの出題範囲は広がってしまいましたが、計画的に学習に取り組む時間が多く取れます。また、授業ごとの小テストや単元ごとのテスト、実力テスト等を実施し、学習の定着状況を把握していきます。

Q6 高校受験の際の内申点がどうなるのか不安なのですが？

高校受験の内申点は、出願直前までの評価が採用されます。基本的には、私立高校は前期の評価にその後の学習の様子を加味して決めていきます。県立高校は学年末の評価が採用されます。